議題２

第４次熊本市食の安全安心・食育推進計画
「食育の推進」の進捗状況について

「食育の推進」については、第 4 次推進計画に掲げている以下①～④の 4 つの目標に基づき、様々な事業を展開した。

① 全ての市民の食育への理解の増進
② 健全な食生活が実践できる環境整備
③ 市民運動としての食育の推進
④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進

令和 7 年度（2025 年度）の取組

① 全ての市民の食育への理解の増進（21～27 頁）

家庭における食育の推進のため、乳幼児や高齢者対象のサークルや食育実践講座の開催回数についても、コロナ禍以降徐々に増えており、乳幼児健康診査等各種相談の場で、食生活の相談や不安解消に努めた。

② 健全な食生活が実践できる環境整備（28～33 頁）

健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信では、食生活改善推進員が実施する「すこやか食生活改善講習会」は全 92 校区で開催し、糖尿病予防についての情報発信と調理実習を行った。

また、市民の野菜摂取量の増加を目指した食環境整備の取組では、230 の食品関連事業者と協働で、店舗での啓発ポスター掲示と野菜レシピのリーフレットの配置、併せて健康ポイント事業の中でクイズミッションやポスターミッションで、ポイントをインセンティブとした市民啓発を行った。

③ 市民運動としての食育の推進（34～36 頁）

全体研修会や各区における地域研修会等を通じて、ネットワークメンバーの資質向上及び関係団体との連携強化を図った。その結果、保育所等と関係団体が連携して実施した活動の割合は、令和 6 年度の 19.1%から令和 7 年度は 30.1%へと 11.0 ポイント増加した。

④ 「くまもとらしさ」を活かした食育の推進（37～40 頁）

令和 6 年度から開始した「いきなり団子プロジェクト」では、食生活改善推進員が実施し、市立小中学校に郷土料理に関する調理実習を実施し、次世代であるこどもたちにくまもとの郷土料理について伝承した。

また、農水局、教育委員会事務局、健康福祉局の 3 局合同で実施した、学校給食を軸とした食育プロジェクト「まるごと　くまもと　ありがとうのひ」給食では、熊本県産市産品を 100%使用した学校給食を提供するとともに、生産者と児童との交流を図った。また、学校給食再現メニューや熊本市の農水産物をリーフレットにし、食品関連事業者等に設置するなど、市民への啓発を行った。

令和 8 年度（2026 年度）の重点的に行う取組（41～44 頁）

・熊本地震の経験を踏まえ、必要な食料備蓄量等を含む災害時の食の備えに関する啓発を強化し、市民の防災意識の向上を図る。
・いきなり団子プロジェクトにおける料理教室やイベントを通して、次世代を担う子どもたちへの郷土料理の継承を推進する。

Ⅰ 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

施策の方向性		(1)家庭における食育の推進		R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	①	食育に関心がある市民の割合		88.2%	―	―	95%
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数		10.4回	―	―	11回
	③	朝食の摂取状況 ※幼児は「毎日食べる」の割合、他は「ほとんど食べない」の割合	幼児	96.7%	―	―	100%
			小学6年生	1.7%	1.8%	1.9%	0%
			中学3年生	2.6%	2.4%	2.2%	0%
			若い世代【20歳代・30歳代】	13.3%	―	―	10%以下
			65歳以上	2.3%	―	―	0%
取り組むべき 施　策	1) 健康をつくる「食」についての啓発						
	2) 食を楽しむことについての啓発						
	3) こどもの頃からの体験を通した食育の推進						

≪行政≫

	検証指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	朝食の摂取状況　小学6年生 ※「ほとんど食べない」の割合	1.7%	1.8%	1.9%	R6年度より対象を小学校6年生とした。	0%	0%	健康教育課
2	朝食の摂取状況　中学3年生 ※「ほとんど食べない」の割合	2.6%	2.4%	2.2%	R6年度より対象を中学校3年生とした。	0%	0%	健康教育課
	検証指標に準じる指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
3	1歳6か月児健康診査－朝食を毎日食べている子の割合 （受診前質問票集計）	96.9%	96.7%	97.4%	―	100%	100%	各区保健こども課
4	3歳児健康診査－朝食を毎日食べている子の割合 （受診前質問票集計）	94.2%	94.7%	95.0%	―	100%	100%	各区保健こども課
5	健康のために実行していること－毎日朝食を食べる （総合計画アンケート）	76.1%	72.5%	73.8%	―	100%	100%	健康づくり推進課
6	3歳児健康診査－ こどもだけで食事をすることが「よくある」「時々ある」こどもの割合 （受診前質問票集計）	17.4%	18.1%	18.3%	―	0%	0%	各区保健こども課

	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
7	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	実施	実施	子育て支援に関する各種制度やイベント情報等の掲載。	継続実施	継続実施	こども政策課
8	乳幼児ママ・パパ教室	就学前の子どもを持つ保護者の団体や子育てサークル等に講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	派遣回数 4回	派遣回数 4回	派遣回数 3回	乳幼児の食育や離乳食の作り方・進め方・簡単レシピの講話を実施。	継続実施	継続実施	こども支援課
9	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	90回 810人	89回 783人	81回 846人	育児サークル等にて離乳食の進め方等について講話を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課
10	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつの与え方について講話を実施	16回 117人	28回 160人	17回 129人	育児サークル等にて幼児期の食生活について講話を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課

11	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	相談件数 1,233人	相談件数 1,257人	相談件数 1,266人	電話や来所相談を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課
12	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加人数 2,181人	参加人数 2,017人	参加人数 1,848人	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課
13	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	受診率 98.0%	受診率 98.9%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施。	100%	100%	こども支援課
14	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	該当者なし	該当者なし	フォロー率 100%	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施。	医師の指示があれば全数対応	医師の指示があれば全数対応	こども支援課 各区保健こども課
15	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.1%	受診率 97.9%	受診率 98.0%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施。	100%	100%	こども支援課
16	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 97.1%	受診率 96.0%	受診率 96.9%	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施。	100%	100%	こども支援課
17	3･7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 97.9%	フォロー率 98.0%	フォロー率 93.8%	面接、電話にてフォローを実施。	100%	100%	各区保健こども課
18	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.2%	受診率 98.3%	受診率 97.4%	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施。	100%	100%	こども支援課 各区保健こども課
19	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.7%	受診率 98.4%	受診率 97.7%	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施。	100%	100%	こども支援課 各区保健こども課
20	乳幼児経過観察健診	こどもの発育･発達状況に応じた指導を実施	受診率 96.1%	受診率 92.6%	受診率 91.3%	こどもの発育･発達状況に応じた指導を実施。	100%	100%	こども支援課 各区保健こども課
21	子育て支援センター来所者の保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ	実施なし	育児講座 4件 給食紹介 6件	育児講座 参加:31組 4か所の公立支援センターにて実施	給食見学体験日をもうけ、希望者に実施する。	継続実施	継続実施	こども支援課 子育て支援センター
22	はやね･はやおき･あさごはんカード	熊本市こどもの食育推進ネットワークで作成した、はやね･はやおき･あさごはんカードを用いた家庭での生活リズムの確立のための支援	配付数 6,274枚	配付数 7,341枚	配付数 10,438枚	ネットワーク加入かつ申込のあった184施設(団体)からカード配付。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

≪関係団体･機関≫(抜粋)

取組状況		関係団体･機関名
1 **食環境整備事業** こどもの咀嚼力をよくする資料作成	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
2 **親子料理教室** 講話及び調理実習 ･参加者　親子20人　、栄養士会、8人、母子会3人	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
3 **おやこの食育教室** 力合校区の親子を対象に、だご汁･ライスペーパー餃子の調理実習を実施。 ･開催日　令和6年11月9日　　･参加者数　30人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会

Ⅰ 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

*令和4年度実績値

施策の方向性		(2)学校、保育所・幼稚園等における食育の推進	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	④	体験型食育活動に取り組んでいる保育所・幼稚園等の割合(実施園数/全施設数)	*91.1%	94.2%	92.4%	100%
	⑤	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	*82.0%	88.0%	63.5%	100%
取り組むべき施　策	4) 体験型食育活動に取り組んでいる保育所・幼稚園等の割合(実施園数/全施設数)					
	5) 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合					

≪行政≫

	検証指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	体験型食育活動に取り組んでいる保育所・幼稚園等の割合(実施園数/全施設数)	*91.1%	94.2%	92.4%	園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供、クッキング体験等を実施。	100%	100%	保育幼稚園課 指導課
2	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	*82.0%	88.0%	63.5%	PTA総会、懇談会等で保護者への食育の啓発を行った。	100%	100%	健康教育課

	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
3	保育所・幼稚園等での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 公立100% 私立93.5%	実施率 公立100% 私立87.7%	実施率 公立100% 私立91.9%	園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供、クッキング体験等を実施。	100%	100%	保育幼稚園課 指導課
4	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心を高め、食について親子での会話を促す	実施率 公立100% 私立75.0%	実施率 公立100% 私立69.6%	実施率 公立100% 私立88.6%	・実物の展示食を用いて、必要量や形態等を啓発。 ・おやつの展示による、内容や補食量の啓発。	100%	100%	保育幼稚園課
5	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 公立100% 私立93.5%	実施率 公立100% 私立90.0%	実施率 公立100% 私立88.0%	(公立) 「熊本市保育所食育推進年間計画」に基づき、月ごとの食育目標に沿った内容で情報を発信。	100%	100%	保育幼稚園課
6	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 公立31.6% 私立54.4%	実施率 公立36.8% 私立55.7%	実施率 公立52.6% 私立63.0%	(公立) ・保育参観等を利用した、保護者への給食についての説明や試食提供を実施。	85%	85%	保育幼稚園課
7	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	実施	実施	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付。	継続実施	継続実施	健康教育課
8	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康教育課
9	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	応募数 996点	応募数 454点	応募数 539点	児童生徒及び保護者の学校給食への関心を高め、本市の食育に関する一層の推進を図った。	継続実施	継続実施	健康教育課
10	児童等のための食育講座	小学校や中学校で、食生活等に関する講話を実施	実施	実施	実施	朝食の大切さなどについて講話を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課

≪関係団体・機関≫(抜粋)

取組状況		関係団体・機関名
1 **100円朝食** 朝食の大切さを知ってもらうために毎年実施。学生に負担がかからないよう、大学が150円を補助し、学生は100円で朝食が摂れる。 令和7年度も8,000食を超える朝食を提供した。	R8継続	崇城大学
2 **大学生協事業連合「大学生に対する個別食生活相談」** ・栄養指導　165人　　担当者10人	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
3 **小学校歯磨き巡回指導** 熊本市歯科医師会・教育委員会と連携。熊本市立小学校児童を対象に講話と歯磨き実技指導を実施。 ・令和7年7,9,10,11月　10校25学級　児童延べ716人	R8継続	熊本県歯科衛生士会
4 **わんぱくまつり** こども、保護者への食育に関する啓発活動等 ・開催日　令和7年10月19日　　・場所　立田山野外保育センター　・参加者数　837人	R8継続	(一社)熊本市保育園連盟

5 **ベジ活キャンペーン** 学生食堂で販売される弁当・定食・カレーに1食あたり野菜120g以上を盛り込み提供。 アンケートを実施し、学生から支持を得られている。 ・実施期間　令和7年4月～令和8年2月	R8継続	熊本県立大学
6 **くまもと食育ガイドブックの使用** くまもと食育ガイドブックを使用した講義の実施。 自らの食育活動を振り返る機会やアクションプランを作成することで、学生自身の食生活を改善することにつながった。 ・開催月　令和7年10月～令和8年1月　　参加者数46人	R8継続	熊本県立大学
7 **ときわ幼稚園への食育及び行事食の提供** ときわ幼稚園の園児に対し、パフェを通して食材の説明、食の大切さ、楽しく食べることを伝えた。 また、クリスマスケーキやバレンタインデー等、行事にあわせた食を提供した。	R8継続	学校法人常盤学園　シェフパティシエ学院

Ⅰ 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

*令和4年度実績値

施策の方向性		(3)地域における食育の推進	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑥	企業、大学等での食育に関する講座の開催件数	*3件	17件	40件	40件
	⑦	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	*768	841	851	876 (令和8年度)
取り組むべき施　策	6) こどもや高齢者に対する食育の推進					
	7) 若い世代や働き盛り世代に対する食育の推進					
	8) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育の推進					

≪行政≫

	検証指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	大学生等のための食育実践講座 (食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施)	*3件	10件	24件	食事のバランスや女性のやせの問題等食生活に関する講座を実施。	40件	40件	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	働きざかり世代のための食育実践講座 (メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施)	*実施なし	7件	16件	野菜摂取の大切さ等働きざかり世代に対して食生活に関する講座を実施。			各区保健こども課 健康づくり推進課
3	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	*768	841	851	くまもと元気くらぶ 地域支え合い型サービス、ふれあい・いきいきサロン等	876 (R8年度)	―	高齢福祉課

	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
4	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	21回 377人	23回 407人	28回 583人	フレイル対策や低栄養予防のための食生活について講話を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課
5	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 (※R2からは、「啓発パンフレットの作成と配付」を除く)	364	428	419	実施事業なし(高齢者支援センター・福祉課等で実施)	継続実施	継続実施	高齢福祉課
6	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	配布数 6,911枚	配付数 6,088枚	配付数 6,864枚	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康教育課
7	こども食堂(地域食堂)の活動支援	開設時の相談受付、補助金等の情報提供、食材等寄付のマッチング等、食育・孤食防止等に取り組むこども食堂(地域食堂)への支援を実施	実施	実施	実施	開設時の相談受付、補助金等の情報提供、食材等寄付のマッチング、未開設校区へのPR活動などを実施。	継続実施	継続実施	こども政策課
8	短期集中予防サービス(栄養改善プログラム)	栄養改善が必要な方に対し、訪問による個別的栄養相談のプログラムを実施	154	102	73	短期集中予防サービスを実施。	継続実施	継続実施	高齢福祉課
9	健康教室(一体的実施事業)	フレイルのための健康教室を実施。体力測定や質問を活用し、フレイル状態の把握する機会とし、フレイル予防に関する健康教室を実施	45箇所	63箇所	68箇所	体力測定・健康講話を2回コースで実施した。健康講話では栄養のフレイル予防についての説明を行った。	継続実施	継続実施	国保年金課
10	女性のための食育実践講座	やせや骨粗しょう症の予防等、女性の健康づくりのための食生活の進め方について講話を実施	実施	実施	実施	やせや骨粗しょう症の予防等、女性の健康づくりのための食生活の進め方について講話を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課 健康づくり推進課

≪関係団体・機関≫(抜粋)

取組状況		関係団体・機関名
1 **歯の祭典** 歯の祭典内の各コーナーで食育についても啓発等を行う。 開催日　令和7年6月8日　　場所　ウェルパルくまもと　　来場者数　753人	R8継続	(一社)熊本市歯科医師会
2 **歯たちの健診** 熊本市内の大学の学園祭等にて、無料歯科健診をし、その中で食育に関する指導も行う。 開催日　令和7年11月22日　　場所　熊本総合医療リハビリテーション学院　　健診者数　77人		(一社)熊本市歯科医師会
3 **熊本市民健康フェスティバル** 開催日　令和7年10月5日　　場所　熊本城ホール　　歯科相談者数　21人　口臭測定者数　5人 内容　歯科相談・健診、口臭測定	R8継続	(一社)熊本市歯科医師会

4 **歯磨き巡回指導** 小学3年生を対象に、ブラッシング指導等を実施する。 実施期間：令和7年7～12月　実施校数 10校	R8継続	(一社)熊本市歯科医師会
5 **情報誌りんどうの配付** 特集「食とこころの健康：心の元気は"食"から始まる」メンタルと栄養 ・配布数 熊本市5区 500部配布	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
6 **公開講座** 秋季研修会 講演「平時の繋がりが非常時を支える～在宅医療と地域包括ケアの観点から～」 シンポジウム「多職種で支える地域の食と暮らし～災害への備えを通して～」 ・参加者数 91人	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
7 **栄養・食生活相談** 食事のとり方について電話及び面接による栄養相談　・電話 2件、 面接 7人	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
8 **短期集中予防サービスによる訪問栄養指導** ・対象者 2人、回数 12回	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
9 **熊本市民健康フェスティバル** ブース展示、栄養食事相談、在宅コーナー ・栄養相談 250人　在宅コーナー20人	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
10 **栄養の日における栄養情報、食育等普及啓発イベント「栄養フェスティバル2025」の実施** 栄養食事相談、防災展示、こどもミニ講話等を実施 ・参加者 延べ1,046人	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
11 **はあもにいフェスタ2025** 栄養食事相談、ブース展示を実施　・参加者 延べ129人	R8継続	(公社)熊本県栄養士会
12 **熊本市こども文化会館との共催で歯科健康講座** 内容　講話「こどもの健やかな成長のために！」～こどものむし歯予防4つのポイント、かかりつけ歯科医を持ちましょう～ 仕上げ磨き実技指導 ・開催日 令和7年6月12日　・参加者数 乳幼児10人、保護者10人	R8継続	熊本県歯科衛生士会
13 **歯の祭典** 市歯科医師会と共催。「一生おいしく安全な食生活を営むためには、歯と口の健康づくりから」を目的に、歯科衛生士会コーナーで普及啓発活動を実施。 ・開催日 令和7年6月8日　・場所 ウェルパルくまもと	R8継続	熊本県歯科衛生士会
14 **高齢者健口講座** いつまでも楽しく安全な食生活を目指すために、高齢者対象の「お口の健康講座」を開催。 テーマ「健康と笑顔はお口から」(講話と口腔体操等) ・令和7年9月27日 帯山西校区高齢者17人　・令和7年11月18日 出水南校区高齢者20人	R8継続	熊本県歯科衛生士会
15 **校区社協主催のいきいき教室** ・いきいき教室 12回(熊本市食生活改善推進員協議会と協働) 食の楽しみや食の大切さ等についての講話や食中毒の注意喚起を行った。	R8継続	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
16 **通いの場での食育の推進** 通いの場等での熊本市食生活改善推進員やサービス事業所所属の管理栄養士による、食事指導及び講話を実施。	R8継続	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
17 **事業所向け「健康づくり出前講座」** 希望する事業所に向けて、無料で講師派遣を行う「出前講座」を実施。15種類ある講座の中に、「食習慣」や「飲酒」といったテーマを設けている。 ・出前講座実施実績226件 うち、「食習慣」又は「飲酒」をテーマとした出前講座24健	R8継続	全国健康保険協会熊本支部
18 **すこやか食生活改善講習会** 地域住民を集めて、「糖尿病を毎日の食事で予防しよう」をテーマに、健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催。 ・開催回数 92校区、92回　・参加者数 1,314人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
19 **食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成講座事業(若者世代)** 熊本大学附属特別支援学級を対象に、食事バランスプレートを使用し、汁物の食塩濃度の測定等を伝え、減塩の必要性の啓発を行い、ヘルスサポーターを養成した。 ・開催日 令和7年11月27日　・参加者数 19人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
20 **食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成講座事業(高齢世代)** 高齢者の地域参加を促し、低栄養やフレイル予防のためのランチョンマット等を使用し講話を実施。 西区実施分　・開催日 令和7年10月28日　・参加者数 25人 南区実施分　・開催日 令和7年11月18日　・参加者数 20人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
21 **こどもの健康・食生活の支援活動** 子育て世代の地域住民に、手作りおやつのレシピを配付し、作り方、適切な量や食べ方、こどもの頃からの食育の重要性について講話を実施。 ・活動実績 1,145回　7,867人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
22 **若者・働き世代の健康・食生活の支援活動** 若者や働き世代の方に対し、若いことからの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施。 ・活動実績 2,058回　5,411人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
23 **高齢者の健康・食生活の支援活動** 高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活や日常生活についての講話等活動を実施。 ・活動実績 2,708回　9,973人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
24 **子育てサークルや保育園、小中学校、高校、大学、地域ベント等における歯と口の健康づくり啓発** むし歯や歯周病予防の観点から、規則正しい食生活や咀嚼チェックガムを使用し、よく噛むこと(噛ミング30)の効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図った。 ・実施回数 137回	R8継続	熊本市8020健康づくりの会
25 **高齢者サロンや老人会でのロの体操** 高齢者サロンや老人会などにおいて、おいしく食べるためのロの体操や唾液腺マッサージなどの情報提供を実施。 ・実施回数 298回	R8継続	熊本市8020健康づくりの会
26 **子育てサポートカーニバルにおける歯と口の健康づくり啓発** こども文化会館でのイベントにおいて、乳幼児とその保護者に向けて、ゲームやエプロンシアターなどの啓発媒体を使用し、むし歯や歯周病予防の観点から規則正しい食生活やよく噛むことの効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図った。 ・実施回数 1回	R8継続	熊本市8020健康づくりの会

27 **わんぱくまつりにおける歯と口の健康づくり啓発** 熊本市保育園連盟主催のわんぱくまつりにおいて、未就学児童とその保護者に向けて、むし歯や歯周病予防の観点から規則正しい食生活やよく噛むことの効果などをパネルやパペット人形などの啓発媒体を使用しながら、口の体操や情報提供を行い、食育の推進を図った。 ・実施回数　1回	R8継続	熊本市8020健康づくりの会
28 **熊本市民を対象とした健康イベントへの参加** ①東区民まつり「けんぐん食と健康まつり」に参加 ・開催日　令和7年11月15日　　・内容　野菜摂取量計測と健康相談を実施 ②熊本城マラソンイベントに参加 ・開催日　令和8年2月13日、14日　　・内容　(株)えがおと協力し体組成測定と健康相談を実施 ③花畑健診に参加 ・開催日　令和8年2月26日～28日　　・内容　体組成測定と健康相談を実施　　・参加者数　64人		(公財)熊本県総合保健センター
29 **職域での健康支援** 熊本市の事業所を対象に、体調改善・健康維持を目指し、食事のリズムや食事内容等についてセミナーや指導を実施。 ①特定保健指導(積極的支援及び動機づけ支援)　1,510件 ②健診事後指導　　17件 ③セミナー　64事業所 ④「将来の自分へ健康投資」をテーマに食事・運動・禁煙・睡眠等についての情報提供資料を健診結果に同封。	R8継続	(公財)熊本県総合保健センター
30 **食育の日** 熊本県の食材を使い、本学学生が考えたメニューを学食で提供。 規格外野菜、郷土料理伝承、地域おこしのような様々な学生グループとのコラボ企画など、学生の実践が食で具体化する様々な工夫を凝らした取組を実施。学生へレシピ提供や食・栄養に関する情報提供を同時に実施。 ・毎月食育の日(全8回・毎月80～150食)	R8継続	熊本県立大学
31 **食育に関する図書館展示** 季節ごとにテーマを決め、図書館に食育コーナーを設置。 ・年4回	R8継続	熊本県立大学
32 **公開講演会(オープンキャンパス、西原中学校交流会、白亜祭出展)** 熊本県内の高校生及び地域住民を対象とし、オープンキャンパス、西原中学校交流会、白亜祭での出展を開催。 ・オープンキャンパス、白亜祭出展 本学オープンキャンパスにて、クイズラリーによるたベラボ活動紹介を実施。紹介においては、大学生が活動を説明しながら展示を見てもらった。 オープンキャンパス　：　開催日　7月20日、21日　　来場者数　約400人 白亜祭　：開催月　11月　来場者数　約200人 ・西原中学校交流会 西原中学校3年生全員を対象とした大学での食育活動についてたベラボを含む大学生団体によるプレゼンテーションを実施。 開催月　9月　　参加185人	R8継続	熊本県立大学

Ⅱ　健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

*令和4年度実績値

施策の方向性		(1)健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑥	企業、大学等での食育に関する講座の開催件数	*3件	17件	40件	40件
	⑧	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	77.7%	－	－	85%
		若い世代【20,30歳代】	74.6%	－	－	80%
	⑨	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	60.7%	－	－	75%
	⑩	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践している市民の割合	31.8%	－	－	50%
		若い世代【20,30歳代】	23.4%	－	－	30%
取り組むべき施　策	9) 「食事バランスガイド」等を活用した食生活への支援					
	10) 健全な食生活の実践や、生活習慣病予防等についての啓発					

≪行政≫

	検証指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	働きざかり世代のための食育実践講座 （メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施）	*実施なし	7件	16件	野菜摂取の大切さ等働きざかり世代に対して食生活に関する講座を実施。	40件	40件	各区保健こども課 健康づくり推進課
2	大学生等のための食育実践講座 （食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施）	*3件	10件	24件	食事のバランスや女性のやせの問題等食生活に関する講座を実施。			各区保健こども課 健康づくり推進課
	検証指標に準じる指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
3	健康のために実行していること－1日2回以上野菜を食べる（総合計画アンケート）	47.8%	48.2%	43.2%	―	―	―	健康づくり推進課
4	健康のために実行していること－米を中心とした栄養バランスの優れた「日本型食生活」を心がけている。（総合計画アンケート）	44.1%	46.1%	45.1%	―	―	―	健康づくり推進課
5	健康のために実行していること－体重管理に心がけている（総合計画アンケート）	47.8%	46.1%	43.8%	―	―	―	健康づくり推進課
	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
6	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き、食をテーマにした講話や実習等を行う	66回	81回	28回	食品保健課や崇城大学から、暮らしのためになる食育講座が開催された。	継続実施	継続実施	生涯学習課
7	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施 （評価指数：肥満度20%以上の児童の割合）	11.4%	11.6%	10.6%	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施。 （評価指数：肥満度20%以上の児童の割合）	減少	減少	健康教育課
8	健康手帳（小中学生用）の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	健康手帳使用者数 1,426人	健康手帳使用者数 1，378人	健康手帳使用者数 1,893人	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す。	継続実施	継続実施	健康教育課
9	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 55,951人	累計 57,274人	累計 58,588人	令和7年度は「糖尿病」をテーマとし献立の普及及び講話、調理実習等を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

10	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	啓発数 2,010人	啓発数 1,758人	啓発数 416人	幼児健診及びイベント等にて啓発。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
11	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	啓発数 11,963人	啓発数 12,172人	啓発数 11,735人	幼児健診や健康教育の際に、統一チラシを用いて栄養成分表示の活用方法について啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
12	健康教育 (40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加者数 5,471人	参加者数 6,894人	参加人数 6,879人	糖尿病予防教室や骨粗鬆症予防教室等を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課
13	健康相談 (40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加者 1,303人	参加者数 1,820人	参加者数 1,562人	個人の生活習慣や食習慣に応じた個別相談を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課
14	生活習慣病重症化予防対策 (特定健診)	特定健康診査の結果より、生活習慣病重症化予防のため、受診勧奨値レベルにある者(血圧、血糖、腎機能)へ通知、電話や訪問等を通じて、受診勧奨および生活習慣改善のため、食生活や運動習慣などの改善を促していく。	対象者数 1,790人	対象者数 2,207人	対象者数 2,343人	特定健診結果から、高血圧・糖尿病・慢性腎臓病の受診勧奨基準対象者へ通知発送し、区役所と連携して訪問や電話による受診勧奨、生活習慣改善の栄養・保健指導を実施した。	継続実施	継続実施	国保年金課 各区保健こども課
15	後期高齢者健診生活習慣病重症化予防対策	後期高齢者健診の結果より、生活習慣病重症化予防のため、受診勧奨値レベルにある(血圧、血糖、腎機能)へ、電話や訪問等を通じて、受診勧奨および生活習慣改善のため、食生活や運動習慣などの改善を促していく。	対象者数 1,488人	対象者数 1,395人	対象者数 1,049人	後期高齢者健診結果から、高血圧・糖尿病・慢性腎臓病の受診勧奨基準対象者へ通知、訪問、電話による受診勧奨、栄養・保健指導を実施した。	継続実施	継続実施	国保年金課
16	フレイル予防対策事業	また、貧血項目に着目し、フレイル予防として低栄養の改善と骨折予防のための訪問等で保健指導を実施する	対象者数 38人	対象者数 266人	対象者数 269人	後期高齢者健診結果から、貧血の基準象者へ通知、訪問、電話による栄養・保健指導を実施した。	継続実施	継続実施	国保年金課

17	短期集中予防サービス　勧奨業務	後期高齢者健診の結果より、短期集中予防事業サービス該当者へ勧奨を行う。	対象者数 130人	対象者数 133人	対象者数 139人	後期高齢者健診の結果から低栄養のリスク該当者に、通知や訪問により栄養指導・短期集中予防サービス(栄養)の利用勧奨を行った。	継続実施	継続実施	国保年金課
18	健康教室(一体的実施事業)	フレイル予防のための健康教室を実施 体力測定や質問を活用し、フレイル状態の把握する機会とし、フレイル予防に関する健康教室を実施	45箇所	63箇所	68箇所	体力測定・健康講話を2回コースで実施した。健康講話では栄養のフレイル予防についての説明を行った。	継続実施	継続実施	国保年金課
19	特定保健指導	特定保健指導を通じて、生活習慣の改善に取り組む。	令和4年度 法定報告値 11.9%	令和5年度 法定報告値 17.9%	令和6年度 法定報告値 16.8%	委託・直営で特定保健指導を実施し、生活習慣改善の支援を実施した。	向上	向上	国保年金課
20	適正体重の維持についての啓発	適正体重を知りそれを維持することの重要性について、チラシ等を媒体として、若い女性のやせ等予防の啓発を行い、ライフコースに応じた適切的確な情報提供を行う。	実施	実施	実施	イベント等にて啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
21	デジタルデバイスを活用した生活習慣病重症化予防事業	ウェアラブル機器とアプリケーションを活用し、糖尿病等の生活習慣病の重症化を予防する。	－	－	実施者数 27人	委託にて糖尿病重症化リスク者に、PHRを活用した栄養指導・保健指導を行った。	継続実施	継続実施	国保年金課

≪関係団体・機関≫(抜粋)

取組状況		関係団体・機関名
1 **対象者への特定保健指導** 40歳から74歳の加入者のメタボリスク保有者を対象とした特定保健指導の中で、食事指導を行った。 ・特定保健指導実績 対象者:38,973人　実施者:16,021人　実施率:41.1%(なお、実施率41.1%は協会けんぽ47都道府県支部中1位の実績)	R8継続	全国健康保険協会 熊本支部
2 **特定健康診査・後期高齢者健診の受検者を対象にし、食習慣改善等の支援を実施** ①特定保健指導(積極的支援及び動機付け支援)　262件 ②健診結果説明会(植木町、城南町)　141人 ③健康相談・栄養指導　電話36件 ④「将来の自分へ健康投資」をテーマに食事・運動・禁煙・睡眠等について情報提供資料を健診結果に同封 当センターにおける特定健診・後期高齢者健診受診者全員に配布	R8継続	(公財)熊本県総合保健センター

Ⅱ　健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

*令和4年度実績値

施策の方向性		(2)食生活改善をサポートする人材の育成	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑪	食育の推進に関するボランティア数	*997人	1,034人	1,079人	1,200人
取り組むべき 施　策	11)　管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と連携強化					
	12)　食生活改善推進員等、地域支援者の養成と育成					

≪行政≫

	検証指標		R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	食育の推進に関するボランティア数 （食生活改善推進員協議会＋8020健康づくりの会の会員数）		*997人	1,034人	1,079人	・令和7年度食生活改善推進員協議会会員数　527人 ・令和7年度8020健康づくりの会会員数　552人	―	1,200人	健康づくり推進課
	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
2	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 34	受入数 42	受入数 37	座学に加え、幼児健診の見学や調理実習への参加。	継続実施	継続実施	各区保健こども課
3		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 29	受入数 27	受入数 25	実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援。	継続実施	継続実施	健康教育課
4	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 6	受入数 3	受入数 2	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援。	継続実施	継続実施	指導課 健康教育課
5	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	開催数 2回	開催数 2回	参加者数:235人 （会場:58人 オンライン:177人）	2回	2回	食品保健課
6	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者 137人	参加者 137人	参加者 135人	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催。	継続実施	継続実施	健康教育課
7	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者 70人	参加者 70人	参加者 70人	授業力向上等の研修会を実施。	継続実施	継続実施	健康教育課
8	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る	1回 167人	1回 49人	1回 71人	後期高齢者における歯科口腔健診の重要性について研修会を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
9	食生活改善推進員養成講座（すこやかくまもと栄養セミナー）	食を通した健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 66人	養成数 74人	養成数 84人	養成講座を5区役所で実施した。	100人 （20人×5区）	100人 （20人×5区）	健康づくり推進課 各区保健こども課
10	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	49回 1,668人	45回 1,380人	47回 1,462人	ボランティア活動に必要な知識と技術を習得するため、研修会を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
11	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 3,917人	年間 2,359件	年間 2,550件	役員会等での助言や電話・来所相談を行う等により、ボランティア活動を支援。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
12	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 107人	養成数 100人	養成数 101人	8020推進員養成講座を5区役所で開催した。	100人 （20人×5区）	100人 （20人×5区）	健康づくり推進課 各区保健こども課

≪関係団体・機関≫（抜粋）

取組状況		関係団体・機関名
1 **尚絅学食レシピコンテスト** テーマ「尚絅ガールズ　豚肉レシピコンテスト」 ・豚肉を使ったオリジナル料理（主食もしくは主菜）＋1品（サラダ、スープなど） ・学生応募総数　186点　　・優秀作品4品を学食で提供（11月～12月、4回）	R8継続	尚絅大学
2 **尚絅乳幼児食育研究会** 乳幼児の食に関する課題や保育現場での食育活動、給食管理（食物アレルギー対応、衛生管理等）の課題を解決していくために、県内の保育所等の関係者（主に給食担当者）が集って、研修を行った。 ・開催回数　6回	R8継続	尚絅大学
3 **尚絅食育推進シンポジウム** 「子どもの未来を拓く保育・食育を目指して～保護者とともにチームで取り組む食育～」をテーマに、基調講演・研究報告・事例発表をハイブリッド方式で行った。 ・開催日　令和8年1月18日（日）　　・参加者　県内保育施設、学校及び行政関係者　約178人	R8継続	尚絅大学
4 **熊本市保育園連盟　給食部会研修会** 食育の知識を深めるため、保育に携わる食育を対象とした食育実践研修会を実施。 ・開催日　令和7年7月8日　　・オンライン開催 ・演題「乳幼児における誤食誤嚥の事故防止と調理法」 ・講師　母子栄養協会　代表理事　管理栄養士　川口　由美子　氏　　・参加者数　82人	R8継続	(一社)熊本市保育園連盟
5 **食育の推進及び施設内での情報共有** 各園、給食や弁当をはじめ食育につながる活動を推進した。栽培活動にも力を入れている。 また、健康づくり推進課の研修に参加し、設置者や園長会で得た情報を共有した。	R8継続	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
6 **市主催事業への協力** 5区役所で開催された食生活改善推進員養成講座の中で、交流会に参加し、受講者に対し活動についての話をするなど養成に協力した。	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
7 **自己学習** 食に関するボランティアとして身に付けることが必要な知識について、研修会等に参加し自己研鑽を行った。 ・26,812回	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
8 **たべラボランチタイムミーティング** 食育を主体的に実施する学部横断的グループ「たべラボ」メンバーを対象に、熊本の食の魅力探しワークショップなどを行った。 ・前学期・後学期　毎週火・水曜日12:10～12:40（30分間）　全34回	R8継続	熊本県立大学

Ⅱ　健康意識の程度にかかわらず誰もが自然に健康になれる食環境づくり

施策の方向性		(3)食品関連事業者等と連携した食育の推進	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑫	スマートミール認証への支援店舗数	0店舗	2店舗	3店舗	60店舗
取り組むべき 施　策	13)　食品工場見学等、体験を通した食育の推進					
	14)　事業者に対する食育の普及と事業者からの発信					

≪行政≫

	検証指標		R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	「スマートミール認証店」登録支援店舗数(累計)		0店舗	2店舗	3店舗	事業所に支援。	30店舗	60店舗	健康づくり推進課 各区保健こども課
	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
2	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	支援事業者数 219件	支援事業者数 224件	支援事業者数 230件	6月の食育月間に野菜摂取量アップのため、店舗にポスター掲示及びレシピの配置し、啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
3	【再掲Ⅱ-(1)】 栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	啓発数 11,963人	啓発数 12,172人	啓発数 11,735人	幼児健診や健康教育の際に、統一チラシを用いて栄養成分表示の活用方法について啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	実施	実施	実施	事業者からの問い合わせに対して随時技術的支援を実施。	継続実施	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健こども課
5	利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加	学校、児童福祉施設、老人福祉施設等の特定給食施設に対し、管理栄養士・栄養士の配置を促す (管理栄養士を配置しなければならない病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く)	68.1%	82.3%	76.3%	管理栄養士必置義務以外の特定給食施設のうち、栄養士未配置の施設に巡回調査で立入時、当該施設で適切に栄養管理を行うため、栄養士を配置するよう施設長へ促した。	75%	75%	食品保健課

Ⅲ　市民運動としての食育の展開

施策の方向性		(1)市民運動による食育運動の展開	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	①	食育に関心がある市民の割合【再掲】	88.2%	―	―	95%
取り組むべき 施　策	15)　食育に関する機運の醸成					
	16)　関係団体と連携した食育運動の展開					

≪行政≫

	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	実施	実施	・国・県と合同で食育月間について街頭計啓発 ・市役所ロビーや各区役所等にてパネル展示等を実施 ・毎月19日に市役所地下食堂レストラン亀井にて「食育の日特別メニュー」を販売し完売。 ・毎月19日に副菜レシピ啓発 ・ホームページやLINEのSNS等にて啓発	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	市民食育講演会	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	1回 117人	1回 86人	1回 134人	講演「日本の食料事情とこれからの食育～食料安全保障を考える～」 講師：東京農業大学副学長　上岡美保氏	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
3	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者実人数 908人	来場者実人数 1,041人	来場者実人数 1,163人	楽しみながら健康づくりを身近に感じる場として、熊本市民健康フェスティバルを開催した。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
4	ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	実施	実施	実施	食の安全安心の確保と食育の推進について情報提供。	増加	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ、熊本市公式ホームページ、SNS等を使った市民への啓発	182回	210回	192回	市政だより、ホームページ、ラジオ他、LINE等のSNSを活用した啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診等について啓発	3回 1,198人	2回 517人	1回 98人	必由館高校にて健康に関する講話を実施。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民を対象にした食育に関する啓発	34人	32人	31人	消費者教育の一環として、夏休み期間中の児童とその保護者を対象に、市場で学ぼう『おいしい魚・野菜・果物の流通について』をテーマにセミナーを実施。	継続実施	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲Ⅱ-(2)】 食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 3,917件	年間 2,359件	年間 2,550件	役員会等での助言や電話・来所相談を行う等により、ボランティア活動を支援。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通したボランティア活動を実施	活動件数 32,361件	活動件数 38,353件	活動件数 34,364件	こども、若者・働き世代、高齢者の健康・食生活の視点で地区組織活動を実施。	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健こども課
10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 1,762件	支援件数 2,128件	支援件数 1,771件	8020推進員が自主的かつ円滑に活動できるように、会議等での助言や、相談支援等を行った。	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健こども課

Ⅲ　市民運動としての食育の展開

＊令和4年度実績値

施策の方向性		(2)食育支援団体のネットワークの整備	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑬	「熊本市こどもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	＊22.7%	19.1%	30.1%	70%
取り組むべき 施　策	15)　食育に関する機運の醸成					
	17)　関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化					

≪行政≫

	検証指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	「熊本市こどもの食育推進ネットワーク」における 連携活動した団体等の割合	＊22.7%	19.1%	30.1%	保育園・幼稚園等の保育施設、地域支援者と連携・協力し、それぞれの専門性を生かした地域におけるこどもとその保護者のための食育活動を展開した。	－	70%	健康づくり推進課 各区保健こども課
	検証指標に準じる指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
2	熊本市こどもの食育推進ネットワークの加入団体数 （こどもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開）	加入団体 427団体	加入団体 428団体	加入団体 425団体	加入団体 ・保育園、認定こども園、幼稚園等の保育施設 ・子育て支援センター ・熊本県栄養士会 ・小学校 ・熊本市民生委員児童委員協議会 ・熊本市食生活改善推進員協議会	増加	増加	健康づくり推進課 各区保健こども課
	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
3	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 7回	開催数 2回	開催数 2回	健康くまもと21推進会議1回、食の安全安心・食育部会1回をハイブリット形式で開催した。	2回	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
4	熊本市こどもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	2回 297施設、 462人参加	2回 273施設、 407人参加	2回 245施設 278人参加	第1回講演会「毎日の食事で育む子どもの体と心～食べたい気持ちを高める食育～」講師：国立学校法人　上越教育大学教授　野口　孝則氏 第2回事例報告とグループワーク 事例報告：熊本市食生活改善推進員協議会、農水ブランド戦略室	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
5	熊本市こどもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	15回 408人（施設）	15回 543人（施設）	8回 349人（施設）	事例報告、グループワーク、調理実習等を実施。	継続実施	継続実施	各区保健こども課

≪関係団体・機関≫（抜粋）

取組状況		関係団体・機関名
1 **こどもの食育推進ネットワークでの活動** ・こどもの食育推進ネットワーク　全体研修会1回、実務者会議2回出席 ・区開催ネットワーク　各委員参加 ・子育てサークルやふれあい・いきいきサロン、地域の行事など住民の集う場所において健康チェックや情報提供を行った。 ・はやね・はやおき・あさごはんカードやレシピ集などを配布し、地域への情報提供などを行った。	R8継続	熊本市民生委員児童委員協議会

Ⅲ　市民運動としての食育の展開

*令和4年度実績値

施策の方向性		(3)新たな日常やデジタル化に対応した食育の推進	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑭	デジタル技術を活用した食育情報発信の件数	*103件	182件	142件	150件
取り組むべき 施　策	18) SNS等、デジタル技術を活用した食育の推進					

≪行政≫

	検証指標		R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	デジタル技術を活用した情報発信の件数		*103件	182件	142件	LINE等によるSNSやレシピ動画等にて情報発信した。	増加	150件	健康づくり推進課 各区保健こども課
	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
2	【再掲Ⅲ-(1)】 ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	実施	実施	実施	食の安全安心の確保と食育の推進に関する情報提供を行った。	増加	増加	食品保健課 健康づくり推進課
3	食のホームページ、熊本市(区)ホームページでの「食」に関する情報提供	食育の推進に関する情報提供	68回	58回	67回	食育の推進に関する情報提供を行った。	継続実施	継続実施	健康づくり課 各区保健こども課
4	食に関する教室や研修会のオンライン開催	市民や事業者等を対象に食に関する教室や研修会をオンライン(対面との併用も含む)で開催	11回	7回	7回	離乳食教室や郷土料理教室等を実施した。	継続実施	継続実施	健康づくり課 各区保健こども課
5	【再掲Ⅰ－(1)】 結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	実施	実施	子育て支援に関する各種制度やイベント情報等の掲載。	継続実施	継続実施	こども政策課
6	【再掲Ⅳ-(2)】 SNSを活用した熊本市農水産物のPR	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信	実施	実施	実施	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信した。	継続実施	継続実施	農業政策課

Ⅳ 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(1)生産者と消費者の交流促進	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑮	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.3%	—	—	50%
	⑯	生産者との交流活動を実施した学校の割合	—	32%	28%	50%
取り組むべき施　策	19) 農林漁業体験を通した食育活動の推進					
	20) 生産者と消費者の交流会の開催					

≪行政≫

	検証指標		R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	生産者との交流活動を実施した学校の割合(新規)		—	32%	28%	授業・まるくまデー・ひごまるデーでの生産者との交流活動を実施	50%	50%	健康教育課
	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
2	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	開催数 4回	開催数 3回	開催数 2回	「まるくまデー」に合わせて、地元生産者との給食交流学習を実施	継続実施	継続実施	健康教育課
3	すこやか交流広場管理運営事業	こども農園の貸付や農園ボランティアによる栽培指導を実施し、世代間交流を促進	70%	70%	70%	こども農園の貸付や農園ボランティアによる栽培指導を実施し、世代間交流を促進	100%	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	100%	100%	100%	校内外の田畑やプランターを利用した野菜、米等の栽培・収穫体験を行った。	100%	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	出前授業を通じ、本市水産業の紹介や漁協等が主催する干潟体験等を支援	3	5	5	小学校への出前授業や公民館主催の公開講座への講師派遣を行い、本市水産業の紹介を行った。	6	—	水産振興センター
6	【再掲Ⅰ-(2)】保育所・幼稚園等での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	94.0%	94.2%	92.4%	園での栽培・収穫体験や収穫物を使用した給食提供、クッキング体験等を実施	100%	100%	保育幼稚園課 指導課

≪関係団体・機関≫(抜粋)

取組状況		関係団体・機関名
1 **尚絅食育の日　お魚の日** 天草地区漁業士会と連携した食育イベント ・天草さくら鯛を使った料理(鯛めし、あおさ汁、鯛ラーメン)の提供、天草の魚や漁業士会の活動をPRするポスター等の掲示、天草の郷土料理や魚介類に関するアンケートの実施 ・開催日　令和7年6月19日、11月6日 ・学食にて限定50食で販売し、すぐに完売した。大変好評であった。	R8継続	尚絅大学
2 **くだものフェスタ** 熊本県果樹生産振興対策本部と連携し、果物の見直しと食生活への定着を目的に、県産果物の周知活動を行った。 ・開催日　令和7年12月4日 ・内容　県産みかんの試食、ベジチェック体験、パネル展示及びアンケートを実施	R8継続	尚絅大学
3 **市場見学対応等** 食育の一環として、田崎市場に対する理解を深めてもらうため、各団体からの市場見学やマスコミ取材に対応した。 ・市場見学　25件422人　　・取材対応　9件	R8継続	(株)熊本地方卸売市場
4 **田崎市場感謝祭(主催:市場連合会)** 熊本地方卸売市場(田崎市場)の水産せり場を主会場として、市場内を一般開放し、水産物や青果物を消費者に直接販売。併せて各種イベントを開催し、地産地消や食の安全安心に関する理解を深めてもらった。 ・開催日　令和7年12月7日　　・来場者数　55,000人 ・内容　　マグロ解体実演販売、模擬せり(水産・青果)、サンマ炭火焼き　他62事業者による出店	R8継続	(株)熊本地方卸売市場

Ⅳ 持続可能な食を支える食育の推進

*令和4年度実績値

施策の方向性		(2)地産地消の促進	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑰	進んで地元農産物を購入する市民の割合	59.6%	―	―	80%
	⑱	市内における農産物直売所の販売額	*7.2億円	8.2億円	8.6億円	増加
	⑲	学校給食における地元農産物の使用割合	*39.1%	37.4%	20.9%	43%
取り組むべき施　策	21) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進					
	22) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進					

≪行政≫

	検証指標	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	市内における農産物直売所の販売額	*7.2億円	8.2億円	8.6億円	指定管理者と連携した情報発信の強化と品質確保・出荷者拡大により、物産館の知名度向上と販売額増加に繋げた。	―	増加	農水ブランド戦略室
2	学校給食における地元農産物の使用割合 （毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。 児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付）	市産品率 *39.1%	市産品率 37.4%	市産品率 20.9%	ひごまるデーやまるくまデー等の市産農産物を活用した献立を作成し実施した。	市産品率 43%	継続実施	健康教育課

	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
3	給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	実施	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用。	実施	継続実施	保育幼稚園課
4	農産物直売所支援	熊本市農産物直売所連絡協議会への情報提供や総会の開催を通じて、直売所間の連携を強化し、直売所全体での販売促進を図る	実施	実施	実施	熊本市農産物直売所連絡協議会を開催し、各種情報共有を図った。	継続実施	継続実施	農水ブランド戦略室
5	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信	実施	実施	実施	SNSを活用し、熊本市の農水産業・農水産物について情報を発信した。	継続実施	継続実施	農業政策課
6	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	開催数 6回	開催数 5回	開催数 6回	レイシ、ほうれん草、大根、ブロッコリー、セリ、晩柑の圃場視察を行った。	継続実施	継続実施	健康教育課
7	地産地消フェアの開催	地産地消フェアを開催し、生産者と消費者が交流する機会を創出し、地産地消を推進する	実施	実施	実施	対面式での地産地消フェアを11月及び2月の各月2日、計4日間実施した。	継続実施	継続実施	農水ブランド戦略室
8	学校給食を軸とした食育プロジェクト「まるごと くまもと ありがとうのひ」給食	市産品を活用した給食「ひごまるデー」を発展させた、地元食材が主役の給食を実施。 あわせて、生産者との交流及び取組の市民への啓発。	実施	実施	実施	熊本県・市産品100%で作る学校給食の提供に合わせて、御幸小学校(6/3)龍田小学校(6/4)にて生産者と児童の交流を図った。	継続実施	継続実施	健康教育課 農水ブランド戦略室 健康づくり推進課

≪関係団体・機関≫（抜粋）

取組状況		関係団体・機関名
1 **牛乳消費拡大事業** 調理実習を東区で開催 ・開催日　令和7年11月28日　　・参加者数　31人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
2 **料理教室** 消費拡大・食育の推進を目的として、野菜や魚を使った料理教室を開催。 ・実施期間　令和7年8～9月に4回　　・参加者数　計36人	R8継続	(株)熊本地方卸売市場
3 **熊本県魚食普及推進協議会** 団体・行政等が一体となって魚介類の消費拡大を図るために魚食普及活動を推進することを目的として、主に、市・町と連携したおさかな料理教室の実施や、シーフード料理コンクールの周知を行った。 ・内容　熊本市の施設や学校等16か所　30回	R8継続	熊本県漁業協同組合連合会

Ⅳ 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(3)くまもとの食文化の伝承	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	⑳	家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合	59.1%	―	―	80%
取り組むべき施　策	23) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の促進					
	24) 関係団体との連携による食文化の伝承活動の推進					

≪行政≫

	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」や熊本市ホームページに掲載し発信	実施	実施	実施	郷土料理をホームページ「くまもとの食」や熊本市ホームページに掲載し発信。	継続実施	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	実施	実施	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施。	継続実施	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施 小学校数 100%	実施 小学校数 100%	実施 小学校 100%	ひごまるデーとして月に1回、郷土料理を導入。	実施 小学校数 100%	継続実施	健康教育課
4		郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	実施	実施	だご汁やタイピーエンを献立に取り入れ、食育だよりで郷土料理について啓発を行った。	実施	継続実施	保育幼稚園課
5	保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	実施	団子汁会等郷土食の伝承を目的とした住民との交流会を実施。	実施	継続実施	保育幼稚園課
6	次世代に伝えたい、郷土料理「熊本のごはん」普及事業	郷土料理レシピ集「熊本のごはん」の普及、啓発を図り、「家庭での食事に郷土料理を取り入れている市民の割合の増加」を目指す。	10回 179人	6回 122人	6回 122人	親子料理教室やオンラインの料理教室にて、郷土料理に関する講話及び調理実習を実施。	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
7	いきなり団子プロジェクト	持続可能な食に貢献する熊本の郷土料理を小中学生とその保護者対象とした調理実習の実施やイベントでの啓発を通して次世代へ伝承する。	―	料理教室 20回 イベント 8回	料理教室 25回 イベント 9回	・市内小中学校にて郷土料理の講話や調理実習を行った。 ・イベント啓発では、郷土料理の展示や試食、レシピ集「熊本のごはん」を配付し、郷土料理の普及啓発を行った。	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課

≪関係団体・機関≫(抜粋)

取組状況		関係団体・機関名
1 **熊本の郷土料理啓発活動** 熊本の郷土料理について、パネル展示及び認知度調査を実施した。 ・開催期間　令和7年6月23日～6月27日 ・熊本に古くから伝わる郷土料理22品について、地区ごとに分けてパネル作成し、その認知度をオンラインアンケートで実施。 ・熊本県の食材や郷土料理、食文化を学ぶ機会となっている。	R8継続	尚絅大学
2 **いきなり団子プロジェクト** 「熊本のごはん」レシピ集を用い、小中学校での郷土料理教室や、イベントを通して郷土料理の普及啓発を行った。 ・料理教室25回　803人、イベント9回　1,161人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
3 **「熊本のごはん料理教室」郷土料理教室への支援** 熊本市が開催した、親子等を対象とした郷土料理教室に対して、講師として技術支援を行った。 ・オンライン郷土料理教室　1回　11人 ・各支部1回 参加者数 中央支部 16人　東支部 34人　西支部 25人　南支部 16人　北支部 20人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会
4 **中学校、高校、大学等での郷土料理講習会の開催** 学校からの依頼を受け、郷土料理の講習会を開催した。 ・実施校及び参加者数 日吉東小学校 90人　日吉中学校 67人 桜山中学校2年生 47人　二岡中学校 134人　熊本市中学校家庭科部会 23人 第二高校 1年生 417人、2年生 28人　千原台高校 157人	R8継続	熊本市食生活改善推進員協議会

≪令和8年度新規取組≫

	主な取組	取組概要	取組内容	R11目標値	R17目標値	担当課
新	食文化de地域交流事業	在留外国人と地域との共生を目指し、食を通じた異文化交流を行う。	・日本の食文化を伝える料理教室(1回)を実施。 ・食育月間(6月)等に合わせ、日本の郷土料理や多国籍料理を紹介するブースを設ける。	継続実施	-	北区保健こども課

Ⅳ 持続可能な食を支える食育の推進

施策の方向性		(4)食の循環や環境を意識した食育の推進	R5 基準値	R6 実績値	R7 実績値	R17 目標値
検証指標 項　目	㉑	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	77.2%	―	―	85%
	㉒	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	55.3%	―	―	60%
	㉓	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	81.3%	―	―	85%
取り組むべき 施　策	25) 食育を通した環境保全					
	26) 環境保全体験を通した食育活動の推進					

≪行政≫

	主な取組	取組内容	R5基準値	R6実績値	R7実績値	R7の事業内容	R11目標値	R17目標値	担当課
1	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	測定計画に基づき地下水等の水質監視を行った。	100%	100%	水保全課
2	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 20人	天候不良により中止	参加総数 93人	菊陽町において田植えや稲刈り、昔の農機具体験を行った。また西原村の熊本市造林地にて下刈りボランティアを実施し、地下水の大切さや地下水保全のための取組について学ぶ機会を設けた。	参加人数 50人	―	水保全課
3	タブレットに対応した社会科副教材の制作	本市のごみ事情をやさしく解説した小学校4年生向けの社会科副教材をタブレットで受講できるようデータで提供する。	タブレットで受講できるよう教材をデータで教育センターに提供。	タブレットで受講できるよう教材をデータで教育センターに提供。	実施	令和8年度版小学4年生用社会科教材「ごみとリサイクル」を作成し、教育委員会へデータ提供。環境教育等での活用を依頼した。	継続実施	継続実施	廃棄物計画課
4	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	1,540人	1,386人	909人	環境保全に関する学習会を開催し市民啓発を行う	―	増加	環境総合センター
5	「食品ロスゼロ協力店」制度の推進	「もったいない！食べ残しゼロ運動」に取り組む飲食店等を協力店として登録し、紹介することで飲食店等及び利用者への意識啓発を行う	実施	実施	実施	忘年会・新年会シーズンの12月～1月に、協力店の認知度向上と利用促進を兼ねたキャンペーンを実施した。また、未登録の飲食店に登録の呼びかけを行った。 登録店舗数:308店舗	継続実施	継続実施	事業ごみ対策課
6	保育所での食育媒体を活用した啓発	保育所の食育計画や毎月の献立に沿った食育媒体を作成し、保育の中で活用することで、食への感謝と食べ物を大切にする意識の啓発を行う	実施	実施	実施	食育媒体を活用し、食への感謝と食べ物を大切にすることの大切さについて啓発を行った。	継続実施	継続実施	保育幼稚園課

災害時の食の備えの状況

Ⅴ　食育を通した食の安全安心の確保

1. 食料備蓄の必要性について

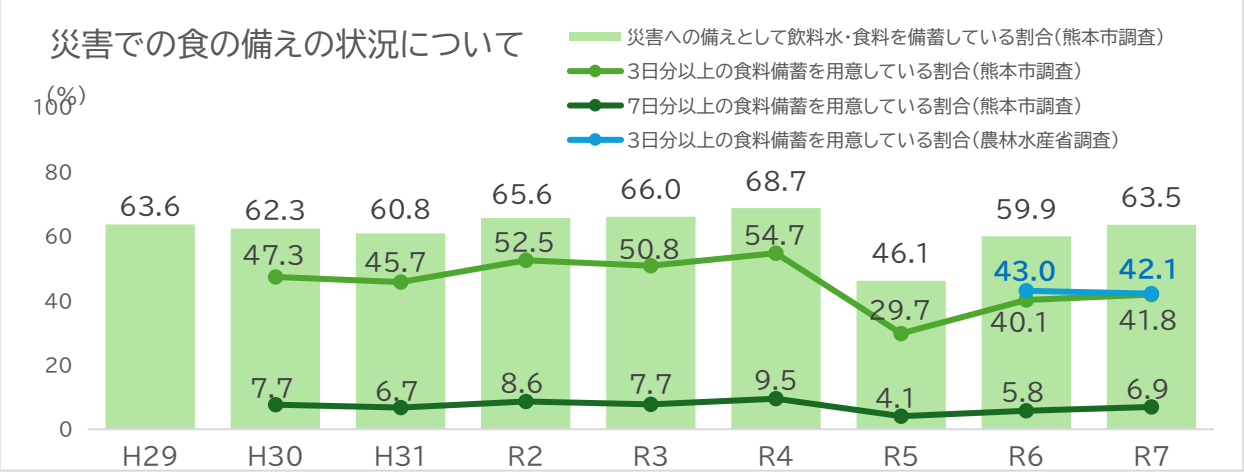
平成 28 年熊本地震に加え、令和 8 年熊本地震においても、断水等によりライフラインが途絶する状況が発生し、平時から災害に備えることの重要性が改めて認識された。

過去の災害では、ライフラインの復旧に 1 週間以上を要する場合がある。また、災害支援物資が十分に届かないことや、スーパー、コンビニエンスストア等で食品が入手しにくくなることも想定される。このため、最低 3 日分、可能であれば 1 週間分程度の食料を家庭で備蓄しておくことが重要である。

2. 家庭における食料備蓄の状況について

熊本市総合計画に関するアンケートにおいて、「あなたは、日頃から、災害への備えを行っていますか。」という設問に対し、「飲料水や食料の備蓄」と回答した割合の推移をみると、令和 4 年度は 68.7%で最も高くなっている。

また、農林水産省が令和 7 年に実施した「食育に関する意識調査」では、「あなたの世帯では、非常用の食料は、世帯人数分として何日分を想定して用意していますか。」という設問に対し、3 日分以上を用意していると回答した割合は 42.1%であった。一方、熊本市総合計画に関するアンケートにおいて、3 日分以上を用意していると回答した割合は、令和 7 年度調査で 41.8%となっており、国の調査結果を 0.3 ポイント下回っている。今後、平時から食の備えに取り組む市民を増やすため、必要な備蓄量について周知・啓発を行う必要がある。



※熊本市調査は、「令和 8 年度熊本市総合計画アンケート報告書」に基づき算出。備蓄量に関する設問は、平成 30 年度から調査を開始。
※農林水産省調査は、「食育に関する意識調査」に基づき記載。食料備蓄に関する設問は、令和 6 年度から調査を開始。

3. 令和 8 年度の実施内容について

令和 8 年度は、平時から災害に備えることの重要性を踏まえ、次頁のちらし等を活用し、幼児健康診査、地域イベント、市ホームページ等を通じて、災害時の食の備えに関する周知・啓発を強化する。これにより、市民一人ひとりが家庭での食料備蓄に取り組めるよう支援していく。

効果的な広報の方法について、委員の皆様からご提案、ご意見をいただきたい。

持続可能な食を支える食育推進事業（いきなり団子プロジェクト）

Ⅳ　持続可能な食を支える食育の推進

1. 事業概要

熊本市内の小･中学生及びその保護者を対象に郷土料理教室等を開催し、次世代を担うこどもたちへの熊本の食文化の継承を図るとともに、こどもたちと地域ボランティアとの世代間交流の場を創出する。本事業は、令和６年度から開始した熊本市食生活改善推進員協議会への委託事業である。

2. 令和７年度実施結果

(1)実施時期:令和７年８月～令和８年２月

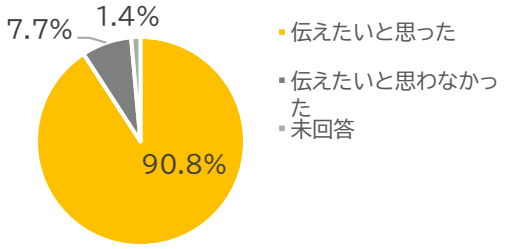
(2)実施内容

実施内容		実施回数	参加人数
料理教室	郷土料理の調理実習(いきなり団子＋郷土料理１品　計２品)及び郷土料理に関する講話	25 回	803 人
イベント啓発	熊本の郷土料理の試食もしくは展示、啓発資料配付	9 回	1,161人

(3)アンケート結果(一部抜粋)

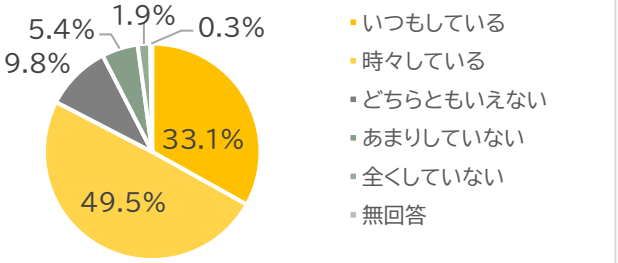
郷土料理教室

問)本日の郷土料理教室で学んだ内容を身近な人に伝えたいと思ったか。



イベント啓発

問)あなたは地産地消のため、すすんで地元産(熊本県産、熊本市産)の農水産物や水産物を購入しているか。



小中学生を対象とした郷土料理教室は、令和７年度において令和６年度から５クラス増の25クラスで実施した。アンケート結果では、参加者の90.8%が料理教室での内容を身近な人に伝えたいと回答しており、郷土料理等のくまもとの食文化の継承につながったものと考えられる。

また、イベント啓発におけるアンケート結果では、進んで地元産の農水産物を購入している(「いつもしている」と「時々している」と回答した者は82.6%であった。食育への関心が高くない層に対しても郷土料理に触れる機会を提供できることから、地産地消の推進及び食文化継承の裾野の拡大につながったものと考える。

3. 令和８年度実施について

令和８年度も引き続き、料理教室25クラスにおいて事業を実施するとともに、各区においてイベント啓発を実施し、地産地消や郷土料理に関する普及啓発を行うことにより、熊本市内の小･中学生をはじめとする次世代を担うこどもたちへの熊本の食文化の継承を推進する。